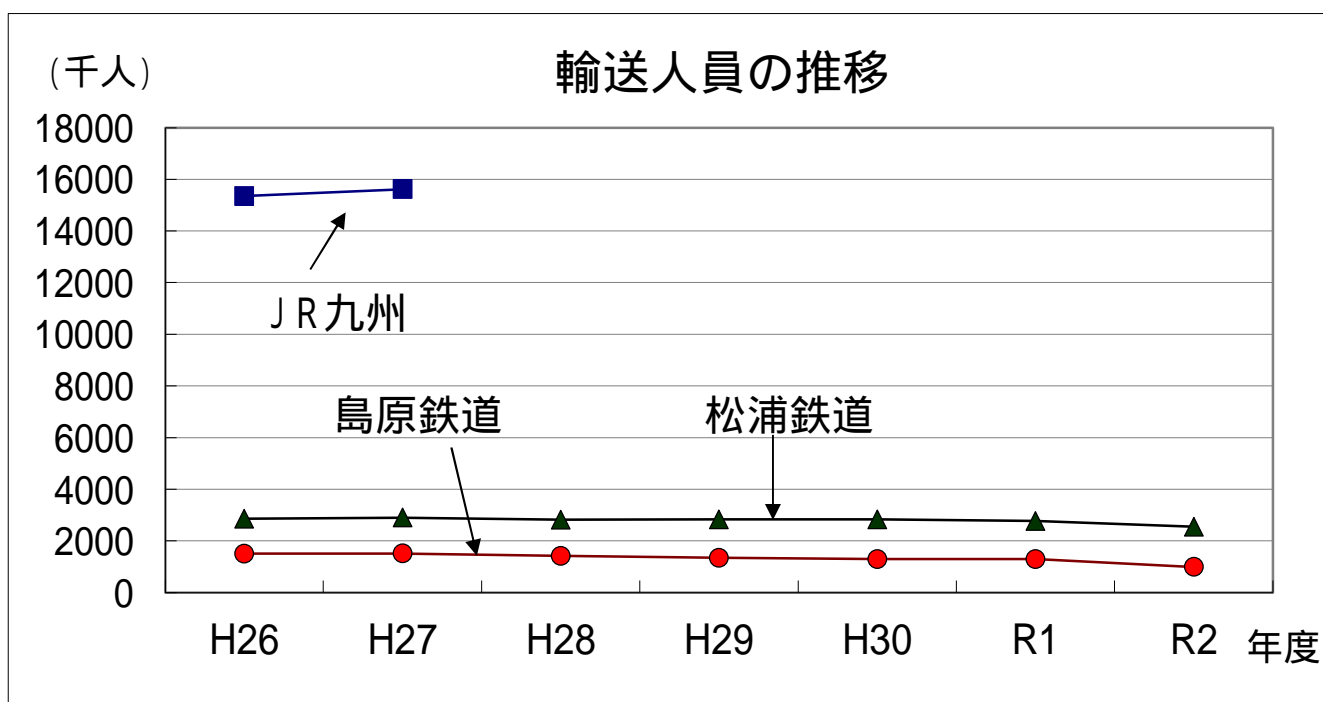


## 鉄道利用の概況



### 県内鉄道の緒元

(平成31年4月現在)

鉄道会社	営業キロ (km)	駅数	複線化キロ (km)	複線化率 (%)	電化キロ (km)	電化率 (%)
JR九州	127.2	37	8.1	6.4	60.8	47.8
島原鉄道	43.2	24	-	-	-	-
松浦鉄道	93.8	57	-	-	-	-

松浦鉄道は、全線(長崎・佐賀両県)に係るもの

### 利用者数の推移

(単位:千人)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
JR九州	15,353	15,621	-	-	-	-	-
島原鉄道	1,509	1,521	1,425	1,351	1,301	1,297	1,002
松浦鉄道	2,864	2,905	2,822	2,837	2,841	2,773	2,553

JR九州は、県内各駅の乗車人員の合計(平成28年度以降は非公表)

島原鉄道と松浦鉄道(長崎・佐賀両県)は、全線各駅の輸送人員の合計

本県に路線を有するＪＲ九州、島原鉄道、松浦鉄道は基幹的な輸送機関として、地域の均衡ある発展と利便性の向上のため、輸送力の増強と輸送サービス改善に努めている。しかし各社、令和元年度末から、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大きく落ち込んでいる。

ＪＲ九州は、安全運行を基本に、より一層のサービス向上に努め、鉄道利用促進に取り組んでいる。特に、Ｄ＆Ｓ列車「３６ぷらす３」の運行や、地域のイベントと連携したＪＲ九州ウォーキングの実施など、地域に密着した顧客サービスの向上を図っている。

島原鉄道は、地域に密着した公共交通機関として、朝夕の通勤・通学はもとより、島原半島の観光振興にも重要な役割を果たしている。少子・高齢化などによる沿線人口の減少が進み、輸送人員が伸び悩む中、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み観光列車「カフェトレイン」を運行している。

同社の輸送人員は、島原半島における少子高齢化の影響に、新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用者の大幅な減少が重なり、令和２年度は１，００２千人で対前年度比７７．３％となった。

松浦鉄道は、地域に密着した公共交通機関として、朝夕の通勤・通学、買い物等の日常生活に重要な役割を果たしている。

利用促進のための取組として「ビール列車」等の企画列車の運行に力をいれているほか、令和２年３月には、全国相互利用交通系ＩＣカード（nimoca）を導入し、利用者の利便性向上にも努めている。

同社の輸送人員は、平成２６年度から概ね横ばいで推移しているが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用者の大幅な減少で、令和２年度は２，２５３千人で、対前年度比８１．２％となった。

島原鉄道、松浦鉄道ともに沿線人口の減少や少子高齢化の進行等により厳しい経営環境が続いており、安全運行確保のための施設の適切な維持・管理と併せて、より一層の利用促進などの取組が必要である。

令和元年度末から、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大きく落ち込んだこともあり、県としては、島原鉄道と松浦鉄道の２社に対し事業継続等支援金を交付し、地域住民の移動手段の維持・確保に努めている。

(県交通政策課)

## バス利用の概況

年 度	乗合バス				貸切バス			
	走行 キロ (千km)	輸送 人員 (千人)	対前年比 (%)	車両数 (両)	走行 キロ (千km)	輸送 人員 (千人)	対前年比 (%)	車両数 (両)
平成								
19	74,219	92,604	99.7	1,585	16,558	2,629	98.7	491
20	73,430	91,657	99.0	1,573	17,160	2,557	97.3	519
21	73,036	88,976	97.1	1,571	16,682	2,483	97.1	539
22	73,498	88,125	99.0	1,554	16,552	2,445	98.5	555
23	70,961	87,562	99.4	1,568	17,902	2,626	107.4	562
24	71,705	86,255	98.5	1,566	19,311	2,932	111.7	561
25	71,852	85,579	99.2	1,593	20,324	3,088	105.3	576
26	72,516	84,125	98.3	1,575	20,463	3,178	102.9	618
27	71,705	83,646	99.4	1,572	20,600	3,406	107.2	622
28	70,654	81,531	97.5	1,566	17,442	3,478	102.1	667
29	68,992	79,605	97.6	1,590	17,377	3,547	102.0	678
30	67,821	76,977	96.7	1,546	15,221	3,365	94.9	705
令和								
1	64,805	72,656	94.4	1,524	13,345	2,715	80.7	612

バスは、通勤、通学、観光客の足として、また、鉄道駅や空港等との主要なアクセス手段として果たす役割は大きい。特に、高齢化が進み全国で最も離島が多い本県では、地域住民の生活を支える重要な交通手段である。

令和2年3月末現在、県内に本社を置く乗合バス事業者は12社で、このうち日本で唯一の県営バスである公営企業が1社、民間企業が11社であり、また8社が本土地域、4社が離島地域の事業者となっている。

令和元年度の輸送人員は、乗合バスは72,656千人で対前年度比5.6%の減少、貸切バスは2,715千人で対前年度比19.3%の減少となっている。

バス利用者は少子高齢化やマイカーの普及等により年々減少傾向にあり、バス事業を取り巻く環境は非常に厳しい。そのため、空港や港との接続などの運行系統の見直しや便数増加、バス停の配置見直しや車両の更新促進など地域交通ネットワークの再編検討に取り組み、利用サービスの向上を進める必要がある。令和2年度には、長崎県営バス他3社において全国相互利用交通系ICカード(nimoca)が導入され、利用者の利便性の向上が図られている。

令和元年度末から、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大きく落ち込んだこともあり、県としては、定期路線バス事業者社に対し事業継続等支援金を交付し、地域住民の移動手段の維持・確保に努めている。

(県交通政策課)

## 航空利用の概況

### 長崎空港利用者数の推移

(単位:人)

区 分	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
国 内 線	2,906,428	3,049,261	3,145,370	3,040,811	875,218
国 際 ( 定 期 ) 線	35,003	51,882	66,356	51,132	0
国 際 チャーター便	430	1,408	1,859	15,448	2
乳 幼 児	54,858	55,891	55,902	51,645	13,414
計	2,996,719	3,158,442	3,269,487	3,159,036	888,634

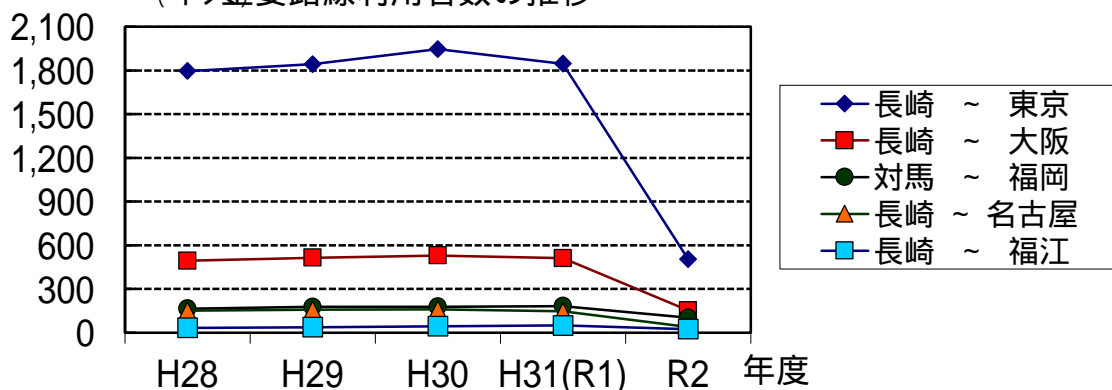
### 主要路線利用者数の推移

(単位:人)

区 分	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
長 崎 ~ 東 京	1,796,097	1,842,905	1,946,200	1,846,792	504,421
長 崎 ~ 大 阪	493,237	513,746	529,728	510,314	151,995
対 馬 ~ 福 岡	164,021	176,687	177,486	182,132	102,102
長 崎 ~ 名 古 屋	149,442	156,930	158,651	145,050	39,178
長 崎 ~ 福 江	32,552	37,201	43,050	48,771	23,932

注) 路線別利用者数に乳幼児は含まない。

(千人)主要路線利用者数の推移



本県における航空の歴史は、昭和35年4月、大村空港を国管理空港（旧第二種空港）として供用開始したことに始まり、昭和50年には世界初の本格的な海上空港「長崎空港」として生まれ変わり、さらに昭和55年には滑走路が2,500mから3,000mに延長された。県内には長崎空港のほか、五島つばき空港、壱岐空港、対馬やまねこ空港の4空港に定期便が就航しており、全国の主要都市をはじめ本土と離島とを結ぶ航空網を形成している。

長崎空港は本県の空の玄関口として、国内線は東京（羽田、成田）、大阪（伊丹、神戸、関西）、名古屋（中部）、沖縄、県内離島の10路線42便、国際線は上海（浦東）・香港の2路線週6便となっている。令和2年度の利用者数は、年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対前年度比28.1%の889千人<内訳：国内線（チャーター便含む）875千人、国際線（チャーター便含む）2人、乳幼児13千人>にとどまった。

また、離島の空港は、五島つばき空港と対馬やまねこ空港は長崎と福岡、壱岐空港は長崎と結ばれており、令和2年度の利用者数は252千人で、同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、生活路線としての役割を果たしている。

路線数及び便数は令和3年12月1日現在の数字。

(県交通政策課)

## 海運（船舶）利用の概況

### 定期航路利用の概要

区 分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
離島航路	旅客数	3,841	3,987	3,897	3,866	2,465
	車両数	455	385	387	400	300
本土間航路	旅客数	2,816	2,064	1,948	1,634	704
	車両数	595	618	649	618	378
計	旅客数	6,657	6,051	5,845	5,500	3,169
	車両数	1,050	1,003	1,036	1,018	678

注) 平戸、福島、天草の航路を離島航路に含む。

区 分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
対馬～釜山航路利用者数	580,446	738,217	849,975	308,928	0

本県における国内定期航路数は令和3年11月末現在38航路あり、このうち離島定期航路数は33航路である。(休止中の航路を除く)

定期航路の令和2年度利用状況は、年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響を受け、旅客数が3,169千人で対前年度比42.4%減少し、このうち離島航路は2,465千人で対前年度比36.2%減少した。車両航送台数は678千台で対前年度比33.4%減少しており、このうち離島航路は300千台で対前年度比25.0%の減少となった。

本県では、離島地域住民の経済的負担の軽減と交流人口の拡大を目的として「離島地域交流促進基盤強化事業」により、新船建造(船舶リプレイス)の支援を実施した。

#### 新船建造の実施結果

長崎～五島航路	「万葉」	(23年4月就航)
長崎～五島航路	「椿」	(24年12月就航)
博多～壱岐～対馬航路	「フェリーきずな」	(24年4月就航)
長崎～五島貨物航路	「フェリーさくら」	(26年3月就航)
福江～青方～博多航路	「太古」	(26年7月就航)
印通寺～唐津航路	「ダイヤモンドいき」	(31年4月就航)

#### 大規模改修の実施結果

長崎～鯛ノ浦航路	「びっぐあーす2号」	(26年3月就航)
----------	------------	-----------

また、国際定期航路が、対馬市の厳原～釜山、比田勝～釜山において運航されている。厳原～釜山においては大亜高速海運の「オーシャンフラワー」、未来高速の「コビー」、スターラインの「ニナ」が就航しており、また比田勝～釜山においては大亜高速海運の「オーシャンフラワー」、JR九州の「ビートル」、未来高速の「コビー」、スターラインの「ニナ」、韓日高速海運の「オーロラ」が就航している。しかしながら、令和元年7月上旬からの日韓関係の悪化に伴う運休や、令和2年3月からの新型コロナウイルス感染症の影響による運休が現在も続いている。

令和3年12月現在、上述の国際定期航路は全便運休中。

(県交通政策課)

## 64 道路

### (1) 実延長

単位：km

年次	実延長				#道路延長			
	総数	国道	県道	市町道	総数	国道	県道	市町道
平成 29 年	17,792	765	1,675	15,352	17,598	719	1,615	15,264
30	17,822	768	1,683	15,371	17,625	719	1,623	15,283
31	17,822	765	1,682	15,375	17,625	717	1,621	15,287
令和 2 年	17,821	763	1,685	15,373	17,622	715	1,622	15,285
3	<b>17,822</b>	<b>760</b>	<b>1,681</b>	<b>15,381</b>	<b>17,624</b>	<b>712</b>	<b>1,619</b>	<b>15,293</b>

注) 1. 各年 4 月 1 日現在。

2. 国道及び県道は長崎県管理の道路現況について記載している。

### (2) 道路現況（令和 3 年 4 月 1 日現在）

単位：km

区分	総数	国道	県道	市町道
実延長	17,822	760	1,681	15,381
路面別				
砂利道	1,199	-	18	1,181
舗装道	16,623	760	1,663	14,200
種類別				
道路延長	17,624	712	1,619	15,293
橋りょう延長	135	25	31	79
トンネル延長	63	23	31	9
改良・未改良別				
改良済	9,949	735	1,321	7,893
未改良	7,873	25	360	7,488
(#)自動車交通不能	2,339	-	23	2,316

注) 国道及び県道は長崎県管理の道路現況について記載している。

64 道路(続き)

(3) 橋りょう

単位：個、m

区 分	平成30年		31年		令和2年		3年	
	個 数	延 長	個 数	延 長	個 数	延 長	個 数	延 長
総 数	1,597	54,962	1,598	54,952	1,598	55,825	1,594	55,801
鋼 橋	123	17,223	124	17,224	126	17,870	125	17,857
石 橋 お よ び コンクリート橋	1,436	33,280	1,436	33,269	1,435	33,496	1,432	33,485
木 橋	1	5	1	5	1	5	1	5
鋼橋とコンクリート橋との混合橋	37	4,454	37	4,454	36	4,454	36	4,454
鋼橋又はコンクリート橋と木橋又は石橋との混合橋	-	-	-	-	-	-	-	-

注) 橋りょう現況は長崎県管理の道路について記載している。

資料 県道路建設課調

(4) 有料道路の利用状況

単位：台/日

年 度	長崎自動車道インターチェンジ別 出 入 交 通 量						長崎バイパス 出入交通量	
	長崎	芒塚	長崎 多良見	諫早	大村	東そのぎ	# 川 平 有料道路	
平成 30 年度	12,824	2,418	15,361	17,260	11,238	5,327	40,607	17,351
令和 元 年度	12,905	2,379	15,274	17,263	11,014	5,278	39,782	16,993
2	10,461	1,924	12,685	15,471	8,699	4,467	34,188	14,788

年 度	西九州自動車道 出 入 交 通 量				ながさき 出島道路 出 入 交 通 量	西海パー ルライン 有料道路 出 入 交 通 量	ながさき 女神大橋 道路出入 交 通 量
	佐世保三 川内IC 本線料金 所通過	佐世保三 川内IC出 入	佐世保 大塔IC 本線料金 所通過	佐世保 大塔IC 出 入			
平成 30 年度	8,948	3,326	6,599	23,050	7,937	8,088	8,690
令和 元 年度	8,600	3,249	6,374	22,497	8,177	7,826	8,380
2	6,289	2,679	4,833	20,244	6,156	6,806	7,858

資料 西日本高速道路(株)調、長崎県道路公社ホームページ

## 6 5 保有車両数

単位：両

年 度 末	総 数	登 録 車 両					被牽引車
		計	普 通 車	小 型 車		三 輪	
				四 輪	三 輪		
平成 28 年度末	949,369	408,912	18,495	29,212	12	509	
29	951,850	409,263	18,687	29,018	13	531	
30	954,522	408,964	18,880	28,805	13	559	
令和 元 年度末	924,735	407,637	19,127	28,579	13	574	
2	<b>927,300</b>	<b>407,453</b>	<b>19,281</b>	<b>28,519</b>	<b>14</b>	<b>598</b>	
年 度 末	登 録 車 両 ( 続 き )						
	乗 合	乗 用		特 種 用 途		大 型 特殊車	
		普通車	小型車	普通車	小型車		
平成 28 年度末	4,354	139,824	199,420	12,738	1,646	2,702	
29	4,453	144,378	195,052	12,798	1,640	2,693	
30	4,394	148,670	190,318	12,948	1,680	2,697	
令和 元 年度末	4,330	152,280	185,351	13,006	1,693	2,684	
2	<b>4,201</b>	<b>156,381</b>	<b>181,014</b>	<b>13,038</b>	<b>1,718</b>	<b>2,689</b>	
年 度 末	新 規 検 査	届 出 車 両 ( 軽自動車 )					
		計	四 輪			三 輪	二 輪
	貨物用		乗 用	特 種			
平成 28 年度末	16,225	524,232	138,732	354,954	1,865	15	28,666
29	16,270	526,317	137,316	358,235	1,880	15	28,871
30	16,446	529,112	136,611	361,231	1,896	16	29,358
令和 元 年度末	16,655	500,443	135,613	362,886	1,928	16	...
2	<b>17,252</b>	<b>502,595</b>	<b>135,676</b>	<b>364,999</b>	<b>1,907</b>	<b>13</b>	...

資料 九州運輸局「自動車保有車両数」



## 6 6 鉄道運輸

単位:人、t

年 度	旅 客			貨物（コンテナ・車扱）	
	乗 車 人 員		降 車 人 員	発 送	到 着
	普 通	定 期			
	九州旅客鉄道(株)			日本貨物鉄道(株)九州支社	
平成 28 年度	6,320,531	8,694,722	15,230,051	23,030	35,045
29	...	...	...	26,293	34,584
30	...	...	...	24,285	27,130
令和 元 年度	...	...	...	27,250	31,830
2	...	...	...	23,110	30,986
	島原鉄道				
平成 28 年度	537,524	887,820	1,425,344	-	-
29	530,648	820,680	1,351,328	-	-
30	535,795	764,820	1,300,615	-	-
令和 元 年度	546,154	751,140	1,297,294	-	-
2	370,369	631,860	1,002,229	-	-
	松浦鉄道				
平成 28 年度	830,263	1,449,355	2,278,180	-	-
29	839,747	1,453,067	2,291,426	-	-
30	840,620	1,457,250	2,292,949	-	-
令和 元 年度	834,146	1,367,153	2,204,371	-	-
2	616,394	1,178,044	1,796,645	-	-

注) 1.松浦鉄道は長崎・佐賀両県で営業しているが、長崎県分のみ計上。

2.日本貨物鉄道(株)九州支社は長崎駅分のみ計上。

3.九州旅客鉄道(株)は平成29年度分から非公表。

資料 九州旅客鉄道(株)、島原鉄道、松浦鉄道、日本貨物鉄道(株)九州支社調

## 6 7 乗合自動車輸送

単位:km、人

年 度	乗 合			貸 切	
	走行キロ	輸 送	人 員	走行キロ	輸送人員
			# 定期		
平成 28 年度	70,355,960	81,397,702	24,577,299	13,475,082	2,920,252
29	68,662,782	79,478,718	24,012,167	14,545,799	3,115,782
30	67,395,415	76,839,765	23,082,952	13,406,190	3,078,006
令和 元 年度	64,316,066	72,536,855	21,929,178	11,549,013	2,561,774
2	<b>58,005,923</b>	<b>56,228,499</b>	<b>19,261,087</b>	<b>3,370,127</b>	<b>1,080,866</b>

資料 (一社)長崎県バス協会調

## 6 8 航空便利用状況

## (1) 定期便

単位：人

年次	総数		東京線(羽田)		東京線(成田)		大阪線(伊丹)	
	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客
平成 30 年度	1,738,505	1,756,224	933,326	953,263	29,715	29,896	208,319	211,575
令和 元 年度	1,680,886	1,702,209	858,447	882,152	53,298	52,895	199,834	201,962
2	510,443	513,965	227,836	233,342	20,999	22,244	58,518	60,248
年次	名古屋線(中部)		神戸線		大阪線(関西)		沖縄線	
	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客
平成 30 年度	78,208	80,443	149,338	143,502	54,711	55,123	32,181	32,353
令和 元 年度	72,091	72,959	157,534	157,014	54,028	54,490	32,861	33,025
2	19,086	20,092	41,177	39,695	16,670	16,559	733	764
年次	福江線		壱岐線		対馬線		韓国線	
	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客
平成 30 年度	20,952	22,098	16,493	17,714	34983	35703	19,737	20,295
令和 元 年度	24,629	24,142	15,768	17,244	35,523	36,801	-	-
2	12,583	11,349	10,908	11,451	25,340	24,832	-	-
年次	中国線(香港)		中国線(上海)		対馬～福岡		福江～福岡	
	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客
平成 30 年度	4,568	4,800	8,526	8,430	90,959	86,527	56,489	54,502
令和 元 年度	19,238	17,955	7,488	7,814	92,372	89,760	57,775	53,996
2	-	-	-	-	51,636	50,466	24,957	22,923

注) 1.各線は長崎発着である。  
2.乗降客は有償利用者である。

## (2) 長崎空港国際チャーター便

単位：便、百人

年次	総数		ソウル		台北・高雄		その他	
	便数	人員	便数	人員	便数	人員	便数	人員
平成 30 年度	30	1,859	1	3	13	1,745	16	111
令和 元 年度	112	14,085	2	20	88	13,832	22	233
2	1	2	-	-	-	-	1	2

資料 県新幹線・総合交通対策課調

## 69 船舶乗降人員

単位：人

年次	乗 込 人 員			上 陸 人 員		
	総 数	#長崎港	#佐世保港	総 数	#長崎港	#佐世保港
平成 27 年	4,568,229	1,097,977	357,472	4,563,439	1,105,053	366,191
28	4,611,999	1,224,175	399,045	4,643,075	1,237,525	407,910
29	5,222,051	1,470,485	431,752	5,229,705	1,476,123	438,248
30	5,080,435	1,376,974	551,215	5,082,421	1,390,443	557,443
令和 元年	<b>4,730,847</b>	<b>1,198,359</b>	<b>488,801</b>	<b>4,744,739</b>	<b>1,209,198</b>	<b>495,460</b>

注) 総数は県内40港の合計である。

資料 国土交通省「港湾統計(年報)」

## 70 郵便局とNTT

(各年3月31日現在)

年次	郵 便 局			N T T		
	総 数	直 営 局	簡 易 局	支 店	電報サービ スセンター	営業所
平成 29 年	448	309	139	1	-	-
30	446	309	137	1	-	-
令和 31 年	440	309	131	1	-	-
2	438	309	129	1	-	-
3	<b>435</b>	<b>309</b>	<b>126</b>	<b>1</b>	-	-

資料 日本郵便ホームページ「郵便局数情報」

NTT西日本長崎支店ホームページ

## 71 電 話

(1) 電話施設数

年 度 末	1)加 入 電 話 等			着信用 電 話	公衆電話 (カード公衆)
	1)総 数	事 務 用	住 宅 用		
平成 28 年度末	286,632	50,322	236,310	...	2,158
29	266,295	47,238	219,057	...	2,093
30	248,999	45,102	203,897	...	1,995
令和 元 年度末	231,134	42,309	188,825	...	1,857
2	<b>214,126</b>	<b>39,677</b>	<b>174,449</b>	...	<b>1,682</b>

資料 NTT西日本ホームページ「電気通信役務契約等状況報告」

## 7 1 電 話 ( 続 き )

(2) 携帯電話等加入数

年 度 末	携帯電話	P H S	CATVインターネット	D S L	F T T H
平成 28 年度末	1,336,719	...	54,395	39,373	213,068
29	1,337,308	...	52,897	33,584	229,763
30	1,328,903	...	52,418	28,602	247,790
令和 元 年度末	1,299,361	...	51,182	23,764	262,801
2	<b>1,332,895</b>	...	<b>48,729</b>	<b>18,874</b>	<b>285,281</b>

資料 総務省九州総合通信局「情報通信統計」

## 7 2 効力別旅券発給件数

単位：件

効 力 別	平成28年	29年	30年	令和元年	2年
発 給 件 数	25,801	26,199	29,127	29,577	6,987
数 次 往 復 用	25,798	26,198	29,123	29,575	6,985
新 規	25,798	26,198	29,123	29,575	6,985
再 発 給	-	-	-	-	-
限 定	3	1	4	2	2
新 規	3	1	4	2	2
再 発 給	-	-	-	-	-

資料 県民センター調

## 7 3 放送受信契約数・衛星契約数

(各年3月31日現在)

年 次	世 帯 数	放 送 受 信 契 約 数	衛 星 契 約 数 ( 再 掲 )
		契 約 数	契 約 数
平成 29 年	561,190	507,802	200,866
30	559,336	510,845	205,452
31	559,285	515,635	210,352
令和 元 年	559,378	518,998	215,353
2	<b>559,423</b>	<b>515,144</b>	<b>212,078</b>

注) 世帯数は各年4月1日現在の長崎県異動人口調査による。

資料 日本放送協会「放送受信契約数統計要覧」

